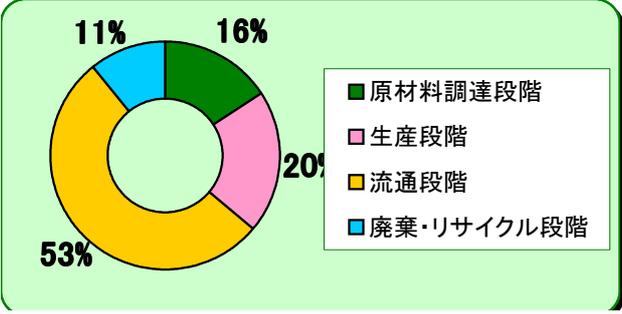


# カーボンフットプリント 登録情報

1. 製品情報			
1.1	登録番号	(申請時には記入不要です)	1.7 製品写真
1.2	製品名称 (日本語)	から松の株式会社 サトウ カラマツ製材	
	製品名称 (英語)	Larch Green lumber	
1.3	製品型式	-	
1.4	製品の主要仕様・諸元	寸法：主に1100×150×22 mm 1100×120×22 mm 1100×100×50 mm 用途：主に木製パレットの材料となる。 製造工程：人工乾燥未処理の製材。	
1.5	CFP算定単位	1 m <sup>3</sup> あたり	
1.6	公開日	(申請時には記入不要です)	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名 (日本語)	株式会社 サトウ
	事業者名 (英語)	Satou.Co.Ltd
2.2	電話番号	0155-37-4141

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容																		
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	88	kg-CO <sub>2</sub> e (端数処理により左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)															
3.2	内訳 (ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等)																	
	原材料調達段階	14	kg-CO <sub>2</sub> e															
	生産段階	18	kg-CO <sub>2</sub> e															
	流通段階	47	kg-CO <sub>2</sub> e															
	使用・維持管理段階	0	kg-CO <sub>2</sub> e															
	廃棄・リサイクル段階	9.5	kg-CO <sub>2</sub> e															
3.3	数値表示、追加情報の内容																	
	数値表示	<記載内容>	<数値表示の単位>															
		88 kg	材積 1 m <sup>3</sup> あたり															
追加情報の記載内容	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>段階</th> <th>値</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原材料調達段階</td> <td>14</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>生産段階</td> <td>18</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>流通段階</td> <td>47</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>廃棄・リサイクル段階</td> <td>9.5</td> <td>11%</td> </tr> </tbody> </table>			段階	値	割合	原材料調達段階	14	16%	生産段階	18	20%	流通段階	47	53%	廃棄・リサイクル段階	9.5	11%
段階	値	割合																
原材料調達段階	14	16%																
生産段階	18	20%																
流通段階	47	53%																
廃棄・リサイクル段階	9.5	11%																

53%

230 kgの炭素を貯蔵しています（CO<sub>2</sub>換算で845 kg）  
1年あたりの温室効果ガス排出量は14.7 kg-CO<sub>2</sub>e（=88 kg÷製品寿命6年）  
です

3.4

備考

世界の有用木材300種編集委員会編：世界の有用木材300種－性質とその用途より、カラマツの気乾（含水率15%）を530 kg/m<sup>3</sup>とし、PCRの付属書Fに従って炭素所蔵量とそのCO<sub>2</sub>換算量を求めました。  
1年あたりの温室効果ガス排出量は、主な製品の用途である木製パレットの耐用年数を6年として求めました。

## 4. CFP算定結果の解釈

4.1

CFP算定結果の解釈

- 製品輸送に起因する流通段階から排出されるGHGが最も大きな割合を占めた。これは製品のほとんどが関東地方や関西地方へと船舶輸送されており、製造地である帯広からの輸送距離が非常に長いためであると考えられる。また、製品が未乾燥状態であり重量が大きいことも製品輸送段階からのGHG排出量が大きくなった原因と考えられる。製品輸送に原材料輸送、廃棄物輸送などを加えた全輸送プロセスからの排出はGHG排出量全体の約2/3を占めており、輸送プロセスからのGHG排出量を抑えることが、製品のライフサイクル全体からのGHG排出量の削減に大きくつながると考えられる。
- 流通段階の次にGHG排出量が大きくなったのは製品製造段階であるが、そのほとんどが公共電力の消費に起因するものであり、製品製造の生産性を向上させることがGHG排出量の削減につながると思われる。
- 当社で収集可能なデータについてはできる限り収集しているため精度は高いと考えられるが、GHG排出原単位データについては一般的なデータを使用しているため、この結果は概算値としてご理解いただきたい。

## 5. 算定条件

5.1

認定CFP-PCR名称

木材・木質材料

5.2

認定CFP-PCR番号

PA-CC-02

5.3

利用した二次データの考え方

基本データベースver.1.01を優先して使用し、利用可能データIDEAver.1.1で補完した。

## 6. 検証情報

6.1

検証方式

個品別検証方式

6.2

システム認証番号

(個品別検証方式の場合は不要です)

6.3

検証番号

(申請時には記入不要です)

6.4

検証有効期限

(申請時には記入不要です)

7

備考

(事務局使用欄)

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。  
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>